

「洞爺湖有珠山ジオパーク」を 世界ジオパークに

—第3回—



企画防災課 ☎74-3004

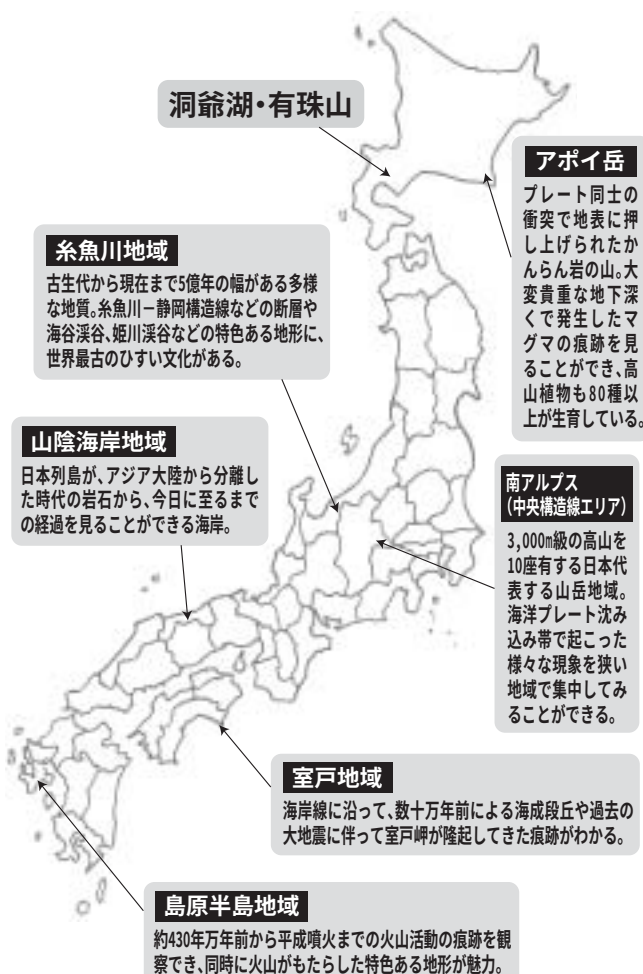
日本のジオパーク

昨 年12月8日第4回日本ジオパーク委員会が開催され、日本で初めて洞爺湖有珠山ジオパークをはじめ7カ所が日本ジオパークに認定されました。今年の5月には、この7つの地域のほかこれから認定を目指す地域も含めて20地域が加盟して日本ジオパークネットワーク（JGN）が発足し、日本での本格的なジオパーク活動が始まりました。

現在、日本ジオパークとして認定されているのは、洞爺湖のほか「アポイ岳（北海道様似町）」「糸魚川」（新潟県）、「南アルプス（中央構造線エリア）」（長野県・山梨県・静岡県）、「山陰海岸」（京都府・兵庫県・鳥取県）、「島原半島」（長崎県）の6カ所。

このうち、洞爺湖と糸魚川と島原半島の3地域が世界ジオパークに申請しており、この秋にも加盟の可否が決定されようとしています。

認定された日本ジオパークの地域



「洞爺湖の良さをアピールしたい」と意気込む後藤洋子さん

ひと 洞爺湖温泉観光協会「観光ディレクター」
後藤洋子さん

「素材としてはすばらしいものばかり。改めて洞爺湖周辺の魅力を感じています。」

洞爺湖温泉観光協会の職員採用に応募し、洞爺湖の魅力発信する「観光ディレクター」として採用され、5月11日付けで就任しました。

道東の厚岸町出身。高校卒業後、東京で情報誌系の企業に就職し、10年前に北海道にＵターン。旅行雑誌の編集者を経て、フリーライターとして、観光地取材しながら「地元」に根付いた観光をやってみようという思いが強まり、今回の応募に。

来年は、洞爺湖温泉開湯100年という節目で、「それを目玉に様々な企画を考えたい」と早速洞爺湖売り込みに懸命です。

「まずは地域の人達との関係を築きながら、ジオパークやエコリゾートなど、様々な洞爺湖の財産を広く発信していきたい」。